

非営利分野（社会福祉法人）における職員育成、組織化（責任の振り分け）、事業承継課題への対応（事業承継の観点から、継承する側と継承される側がそれぞれ作成）

経営デザインシート作成の背景

- 平成30年に実施された厚生労働省の保育所保育方針の改定により、児童福祉施設においては各職員がそれぞれの職務内容に応じた専門性を高めることや、保育の質の向上に組織的に対応することが求められるようになった。これを受けて、（福）東原福祉会が運営する児童福祉施設は、同方針に沿った運営への取組が進められている。
- その中で、同園における職員の育成や組織化に関する理事長のビジョンの明確化とそのビジョンの職員への浸透させる方法や、今後の事業継承（理事長から主任へ）といった課題が出てきたところ、全体的な観点から課題解決を図り、組織内の人的財産や知的財産等の資源の発掘と活用方法を検討するため、知財総合支援窓口の支援を受け、経営デザインシートを作成。

経営デザインシート作成のプロセス

理事長・主任でそれぞれの考え
（園の方針や行政の動向、
社会環境等）を整理



理事長・主任それぞれで、
経営デザインシートを作成



理事長・主任でお互いに
経営デザインシートを提示し、
同園の今後の方針について協議

経営デザインシートを活用した感想・効果

理事長：

当園ではこれまで職員と働き方について様々な提案を出し合い、役割と責任をどう担うかについて話し合ってきたが、全体的に組織を有効に機能させる視点が抜けていた様に思う。経営デザインシートの作成を通して、全職員が現時点だけではなく、10年、20年のスパンでの目標を掲げ、組織（法人）の在り方や責任を分配、各々が持てる力を十分に発揮できる様、環境を整えることができると感じた。特に組織作りに関しては事業継承後も課題として残ると思われるので、様々な課題を早い時点から共有することができたのは有意義だと思う。

主任：

- 児童福祉施設の運営には様々な問題が日々生じてきており、これまで、目の前の課題をいかに解決するかが重要だった。そのような中で、経営デザインシートの作成を通じて、課題からではなく「こうしたい」という未来を起点にして、前向きに成長するために何をすべきかを検討し、そこから今持っている資源を考えることができた。
- さらに、経営デザインシートの作成を通じて、目の前の課題に追われるだけでなく、大きな問題・社会レベルの問題について話し、考えることができた。その中で、当園が社会の中でどのような立ち位置に立っているかが意識できるようになった。